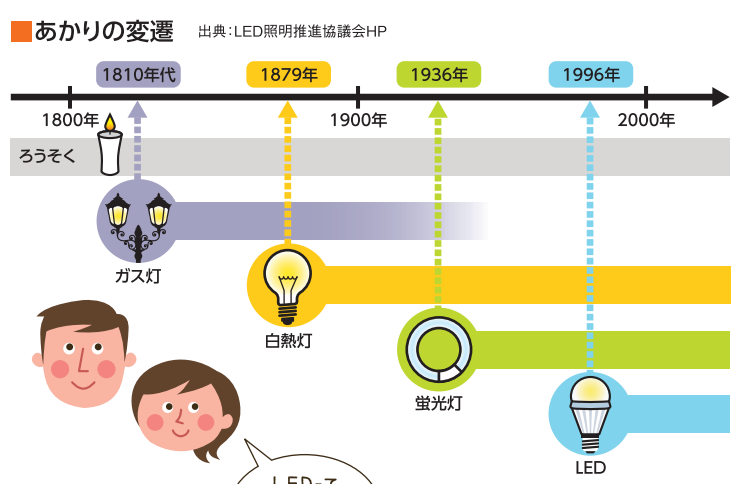


＃32 あかりの最新事情

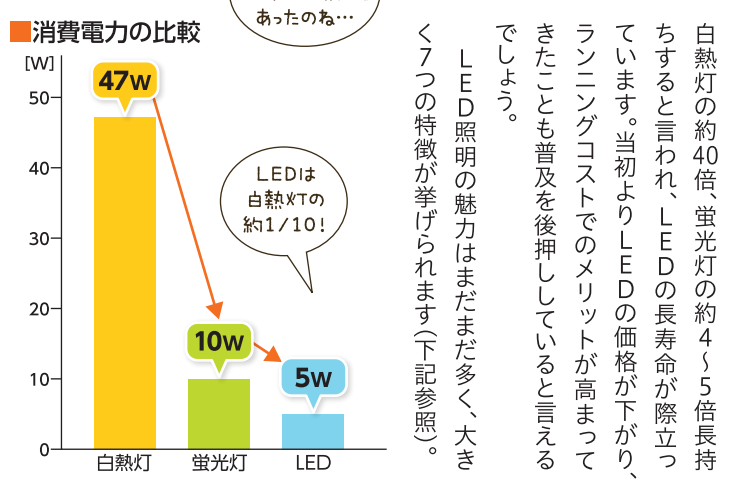
「あかり」を活かして、暮らし心地をアップ!



白熱灯が主流の時代から、蛍光灯中心の照明へ。
さらにここ数年でLED照明が急速に広まって、住まいのあかり環境はずいぶんと変化してきています。
最近ではLED照明がごく一般的になっていますが、その人気の秘密はどこにあるのでしょうか。
そもそも「あかり」は、暮らしの心地よさに大きく影響するものです。
活かし方やちょっとした工夫で、もっと豊かで魅力的なシーンを創り出すことができます。
今号では、LEDの魅力をわかりやすく解説しながら、「あかり」の上手な活かし方や注意したいことなどをお伝えします。
わが家の暮らし心地アップにぜひお役立てください。



白熱灯から蛍光灯、そしてLEDへ。
エジソンが白熱電球を完成させたのが1897年、京都の竹がフィラメントに活かされたのは有名な逸話です。その後、日本の家庭にも白熱灯は広まり、日が落ちてからも明るさが得られることで暮らしのシーンがずいぶんと変わったことと想像できます。
そして1900年代半ば頃から普及し始めたのが蛍光灯です。消費電力・明るさ・長寿命などの理由で人気となり、日本は世界の中でも蛍光灯普及率のとても高い国となりました。様々な形(丸形・コンパクト型・電球型など)や光色(昼光色・昼白色・電球色など)のランプが生み出されたことで用途が広がり、住まいのナイトシーンを彩る



定番のあかりとなりました。そこに登場したのがLEDです。当初は価格などの理由でなかなか広まりませんでしたが、ここ数年で急速に普及し、2018年には新築住宅のほとんどでLED照明が採用されるほどになっています。
LED照明の魅力とは?
急速に広まっているLED照明ですが、その理由・魅力は何なのでしょう。最大のポイントが「省エネ」と「長寿命」と言えます。白熱灯から蛍光灯に変えると消費電力は約1/5程度に削減されますが、LEDではさらに蛍光灯の約1/2程度となり、白熱灯との比較では約1/10という驚きの省エネ性を発揮します。
そして寿命の面でも、一般的にLEDは白熱灯の約40倍、蛍光灯の約4~5倍長持ちすると言われ、LEDの長寿命が際立っています。当初よりLEDの価格が下がりが、ランニングコストでのメリットが高まってきたことも普及を後押ししていると言えるでしょう。

LED照明、7つの特徴

- 1 省エネ**
消費電力が大幅に低減でき、家計にやさしくエコライフが実現できます。
- 2 長寿命**
ランプ交換の手間が省け、ランニングコストのメリットも魅力です。
- 3 コンパクト**
最近の照明器具はシンプルでコンパクトなタイプが多くなったと思いませんか。これはランプやソケットの制約が少ないLEDだからこそ実現できるデザインなのです。天井の段差や壁の隙間にあかりを組み込む建築化照明による演出もLEDを採用するとスムーズに行なえます。

あかりによる空間演出はLEDの得意ワザ!
- 4 光の色が調節できる**
蛍光灯で光の色を変えるにはランプ交換が必要でしたが、LEDなら壁スイッチやリモコン操作で調色が可能。白色・温白色・電球色など、シーンに合わせて光色をコントロールできます。

スイッチひとつで光の色が思いのままに!
※器具によって調色の可否、範囲が異なります。

- 5 瞬時に点灯する**
冬の寒い日、蛍光灯が明るくなるのに時間がかかるという経験がありませんか。LEDは半導体光源なので、冷え切った場所でもスイッチオンでパッと100%の明るさになります。

スイッチONでパッと点灯!
- 6 熱くならない**
白熱電球は点灯とともに熱くなって、夏場にはちょっと辛いです。特に植物やアートを照らす場合は、熱によるダメージも心配です。LEDの光には赤外線が含まれていないため、部屋も快適で、アートや植物をライトアップするにも最適です。

熱くない!
赤外線をほとんど含まない
- 7 虫が寄りつきにくい**
夏の夜、照明に向かって虫が寄ってくるってありますよね。これは虫が一般的に紫外線を含む光を好むからです。LEDの光には紫外線が含まれていないため、虫も寄りつきにくく快適に過ごせます。

虫が寄りつきにくい

光の調色を活かして、暮らし心地をアップ。

LEDの代表的な7つの特徴の中でも、暮らしのシーンをグレードアップするのに有効なのが「光の調色」です。壁スイッチやリモコン操作でパッと部屋の印象を変えることができるのは大きな魅力ではないでしょうか。リビングやダイニングでのシーンに合わせて光の色をコントロールするはもちろん、実はクローゼットや洗面室などでも調色機能は思いのほか便利なのです。演出性と実用性の両方でのメリットを具体的に紹介しましょう。

●リビング・ダイニングでのシーン調色

リビングルームは1日の中でも多くの時間を過ごす場所、過ごし方も様々です。それぞれのシーンに合わせて調色で雰囲気を変えると、ひとつの部屋が幾通りにも楽しめ、暮らし心地も大きくアップします。また、調理や後片付けなどの作業シーンもあれば、食事を楽しむ団らんシーンもあるのが、ダイニング・キッチンです。光の色を変えることでそれぞれのシーンにマッチした最適な空間づくりが行なえます。

●クローゼットでのシーン調色

お出掛け前にコーディネートをチェックしたのに、外出先で「？」と感じたことがありますか。それは室内光で見ていた洋服の感じが、外出先の光の下と違っていたのが原因かもしれません。実は光の色が大きく影響するもののひとつが洋服なのです。お出掛け先の光の色を想定してコーディネートをチェックできれば、いつもグッドチョイス。それが実現できるのがLEDです。

コンパクトさを活かして、空間イメージをアップ。

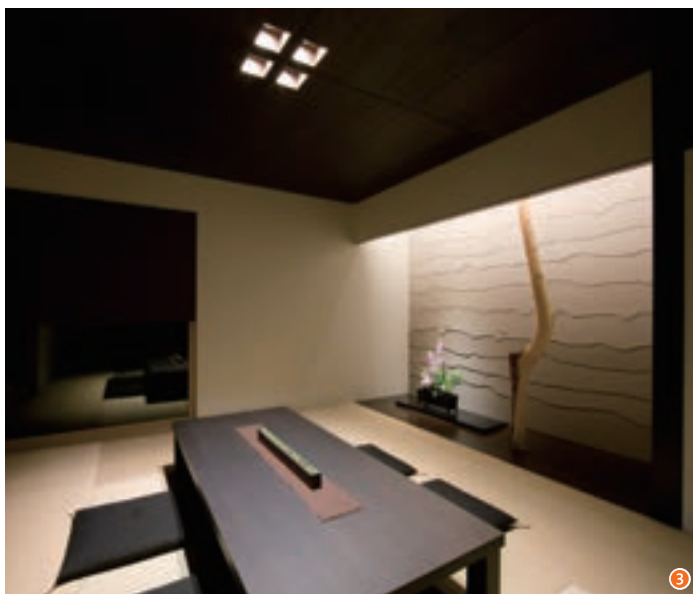
空間を演出する点では、「光の調色」と並んで魅力的な特徴が「コンパクトさ」です。配置場所やデザインに制約が少ないので、照明器具自体の存在感を抑えて空間に溶け込むようなあかりの演出（建築化照明）が可能になります。

実際にLEDの普及に合わせて建築化照明を取り入れられるケースは増えていて、暮らしのナイトシーンはますます豊かになってきています。

壁・天井・床への間接光は、ソフトな印象を創り出すだけでなく、影が少なく、眼にやさしい光としても人気。おしゃれで快適な空間づくりにLEDは最適なのです。



- 1 ソファと壁の隙間にLED照明を設けて、背後から光が放たれているように演出。
- 2 アクセント壁の質感強調と下り天井の落ち着いた光をのびのびと生み出した寝室。
- 3 床の間の上部にフラットなあかりを仕込み、床の間の意匠性が浮かび上がるように。



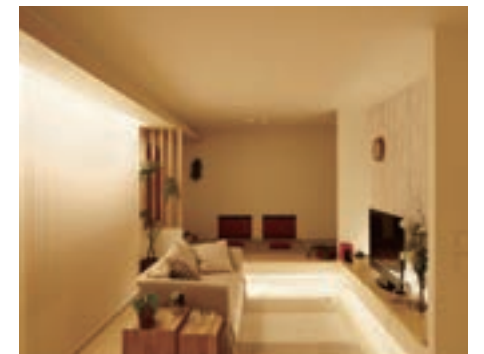
●リビングルームでのシーン調色



1日を爽やかな気分ですtartしたい朝は、透明感や活動的な雰囲気のある光がおすすめ。

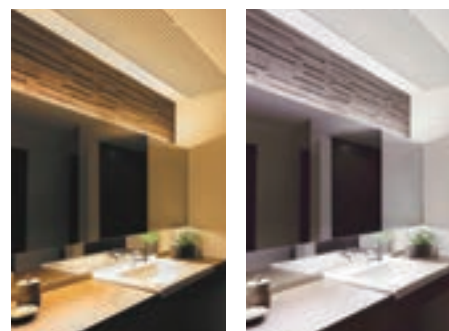


アフタヌーンティをゆったりと楽しむ午後なら、少し暖色を含んだ柔らかな雰囲気のある光に。



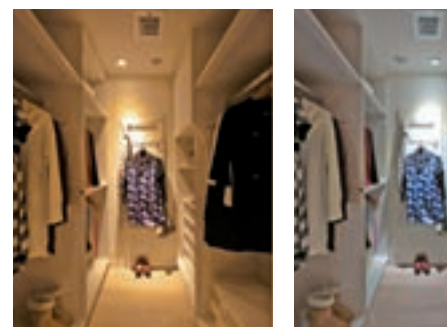
夕食後のくつろぎタイムは、温もりのある光を部屋の低い位置に配して落ち着いた感じをアップ。

●洗面室でのシーン調色



おやすみ前のスキンケアを行なうなら電球色のあかりでリラックス。

●クローゼットでのシーン調色



ホテルやレストランなどの光は暖色系。パーティーなどへのお出掛けなら、電球色系の光の下でコーディネートをチェック。オフィスの光は少し緊張感のある白っぽい光。コーディネートをチェックするのも同じ白い光の下で行なうのがベストです。

●洗面室でのシーン調色

洋服と同じように光の影響を受けるのがメイクアップです。洗面室でお化粧をされるなら、ぜひ光の色にも気を使いましょ。どのような光の下でお化粧をするかで仕上がりが違ってくるものです。ただ、洗面室はメイクアップ以外の用途も様々。光の色を自在にコントロールできるLEDが有効です。

LED照明を使った空間シーン演出を実体験しませんか。

様々な空間体験ができる施設として人気の積水ハウス・納得工房。そのなかに照明について学べて、LEDによる多彩なシーン演出が体験できる照明ゾーンがあります。ぜひご来館いただき、暮らしと住まいのヒントに出合ってください。ご来館にはご予約が必要です。

詳しくは右記URLでご確認ください。 <http://www.sekisuihouse.com/nattoku/koubou/index.html>

わが家のLED化、ここ要注意！

LED照明は実に魅力的なあかりですよ。さっそく、わが家でもと思われた方も多いのではないのでしょうか。新しく住まいを考えられる場合は照明計画もゼロからのスタートなので問題はありませんが、今の住まいのLED化を検討される場合はちょっと注意が必要です。

まず、LED照明ではランプと器具が一体化されている場合が多く、前述の特徴やメリットも主に一体型のLED照明器具についてお伝えしてきました。今の照明器具の白熱電球や電球型蛍光灯ランプをLED電球に交換することも可能ですが、次のことにご注意ください。

ランプ交換の注意点

①ランプの適合性

LED電球は既存の照明器具に適合しない場合も少なくありません。まずランプの大きさや口金のサイズ、重量、光の広がりなどをチェックしましょう。特にLED電球は白熱電球や電球型蛍光灯ランプに比べて重なりがちなので、ランプ数の多い器具では対応重量に注意が必要です。また、「断熱施工型のダウンライト」「調光機能付き照明器具」「センサー機能付き照明器具」「屋外用（密閉形照明器具）に対応するLEDランプ」は種類も限られて価格も高くなりがちです。ランプ選びに不安を感じたら必ず専門家に相談しましょう。



②適切な明るさ

白熱灯や蛍光灯ではW数表示（W形）に沿ってランプの明るさを選ぶケースがほとんどですが、LEDでは明るさは全光束（ルーメン）で表示されています。左の明るさ比較表を参考に適切なランプを選んでください。

ランプの明るさ比較表

出典：日本照明工業会HP

区分	白熱電球	電球型蛍光灯	LED電球 E26口金	LED電球 E17口金
	W形	W形	全光束 (ルーメン)	全光束 (ルーメン)
明	100 W形	25 W形	1520 lm	1430 lm
↑	60 W形	15 W形	810 lm	760 lm
↑	40 W形	10 W形	485 lm	440 lm
暗				

③実現できない魅力

ランプ交換ではLEDの特徴やメリットのすべてを実現できません。「省エネ」「長寿命」などはランプ交換でもある程度実現できますが、「光の調色」や「コンパクトさ」などは器具一体型に交換した場合のみ得られる魅力です。



白熱電球を電球型蛍光灯ランプに交換した経験のある方も多いと思いますが、LEDのランプ交換は様々なチェックポイントがあつて意外と複雑です。LEDならではの魅力を存分に味わうためにも、照明器具自体を交換されることをおすすめします。

わが家のLED化と一緒に壁や天井のクロスも一新して、インテリアの雰囲気イメージチェンジしてみても素敵ですね。